

資料 1

平成28年3月18日

草津市  
上下水道事業運営委員会  
説明資料

平成27年度 第4回

# 次第

## 議事

1. 下水道事業第8期経営計画の策定について
2. 草津市の下水道事業について
3. 平成26年度決算状況について
4. 経営の現状について
5. まとめ

# 下水道事業第8期経営計画の策定について

## 経営計画の策定に係る予定

運営委員会 開催回数	開催日	会議内容
第1回 (H27年度第4回)	3月18日	下水道経営計画の策定に向けて 現状について
第2回 (H28年度第1回)	5月	汚水量予測、事業計画について
第3回 (H28年度第2回)	7月	健全経営、財政計画について
第4回 (H28年度第3回)	8月	財政計画、経営計画について

# 下水道事業第8期経営計画の策定について

## ◆下水道事業第8期経営計画

平成27年度～平成28年度に策定を予定

## ◆計画期間

平成29年度～平成33年度（5年間）

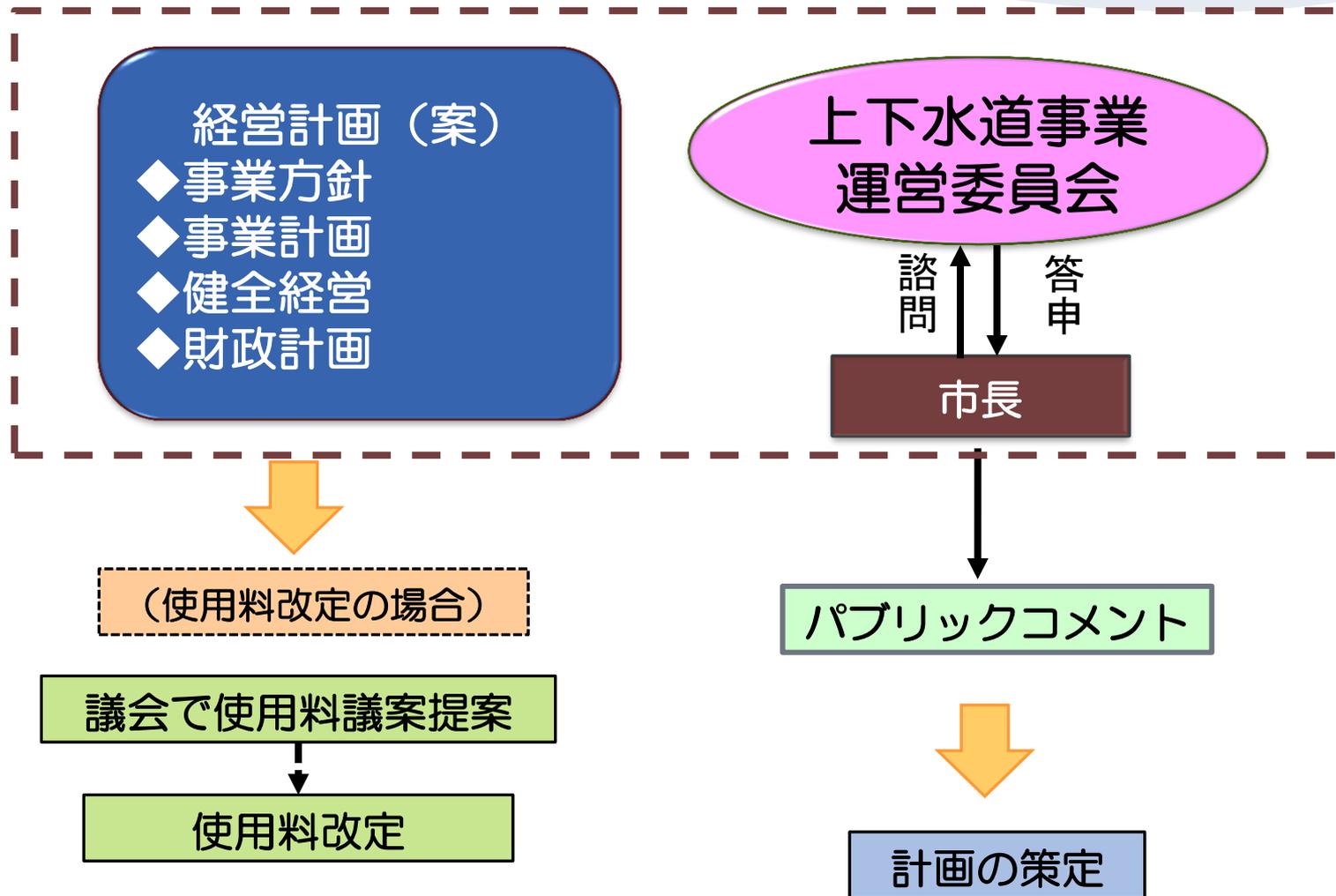
## ◆策定の目的

下水道サービスを、将来に渡り継続するべく、様々な経営環境の変化に対応しつつ、安定した経営を続けていくため

## ◆内容の予定

5年間の事業方針、事業計画、健全経営の取り組み、財政計画

# 下水道事業第8期経営計画の策定について



# 下水道事業第8期経営計画の策定について

## 「下水道事業第8期経営計画」策定スケジュール

	平成27年度	平成28年度											
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
上下水道事業運営委員会	①委員会 ○現状把握		②委員会 ○汚水量予測・事業計画			③委員会 ○健全経営・財政計画		④委員会 ○財政計画、経営計画					
	諮問	←→ 答申											
パブリックコメント							募集						
議会協議	○スケジュール						○パブリックコメント事前説明			○パブリックコメント結果報告			
その他										修正	→ 策定		

# 下水道事業第8期経営計画の策定について

経営計画の策定の流れ

## アセットマネジメント

将来の需要  
予測

将来必要な投資規模の目標設定

(例) 未整備地対策  
長寿命化対策

将来の収支  
予測

経営目標の設定

中長期的に収支均衡を可能とする企業債・資金等の水準の目標設定

(例) 現行使用料の維持  
企業債残高の目標

長期計画

投資計画

均衡

財政計画

中期計画

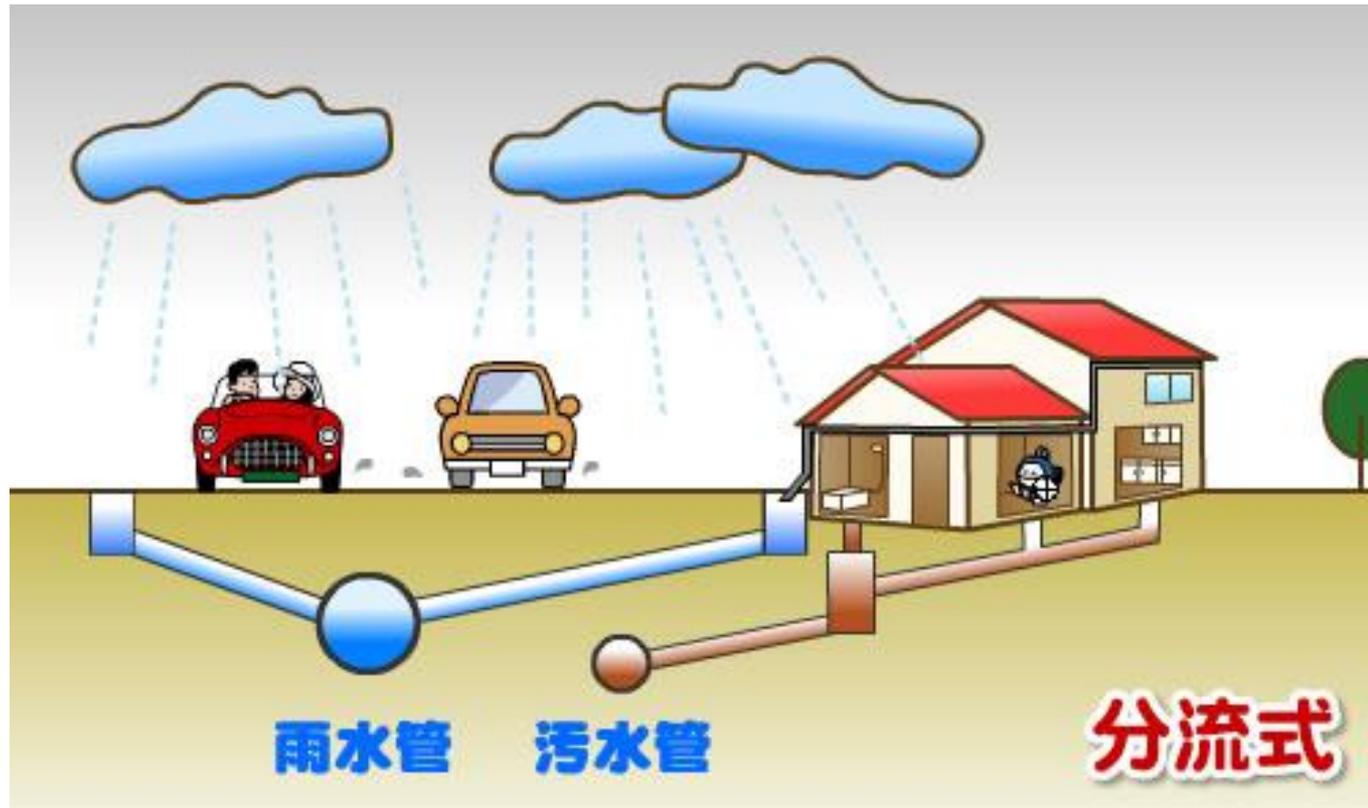
経営計画  
H29~H33

予測が可能な期間

財源構成の検討  
中長期的な視点で

# 草津市の下水道事業について

事業区分	目的	処理方法	資金区分
汚水事業	生活衛生の向上や公共用水域の水質保全	汚水を処理場で処理し琵琶湖等へ排水	下水道使用料
雨水事業	浸水被害の軽減	雨水を河川へ排水	税金



# 草津市の下水道事業について

## 《下水道使用料算定の考え方》

汚水事業

### ◆公共下水道事業



### ◆農業集落排水事業

農業集落排水使用料については、  
将来、公共下水道に接続の予定  
であることから、同料金体系

# 草津市の下水道事業について

## 汚水事業

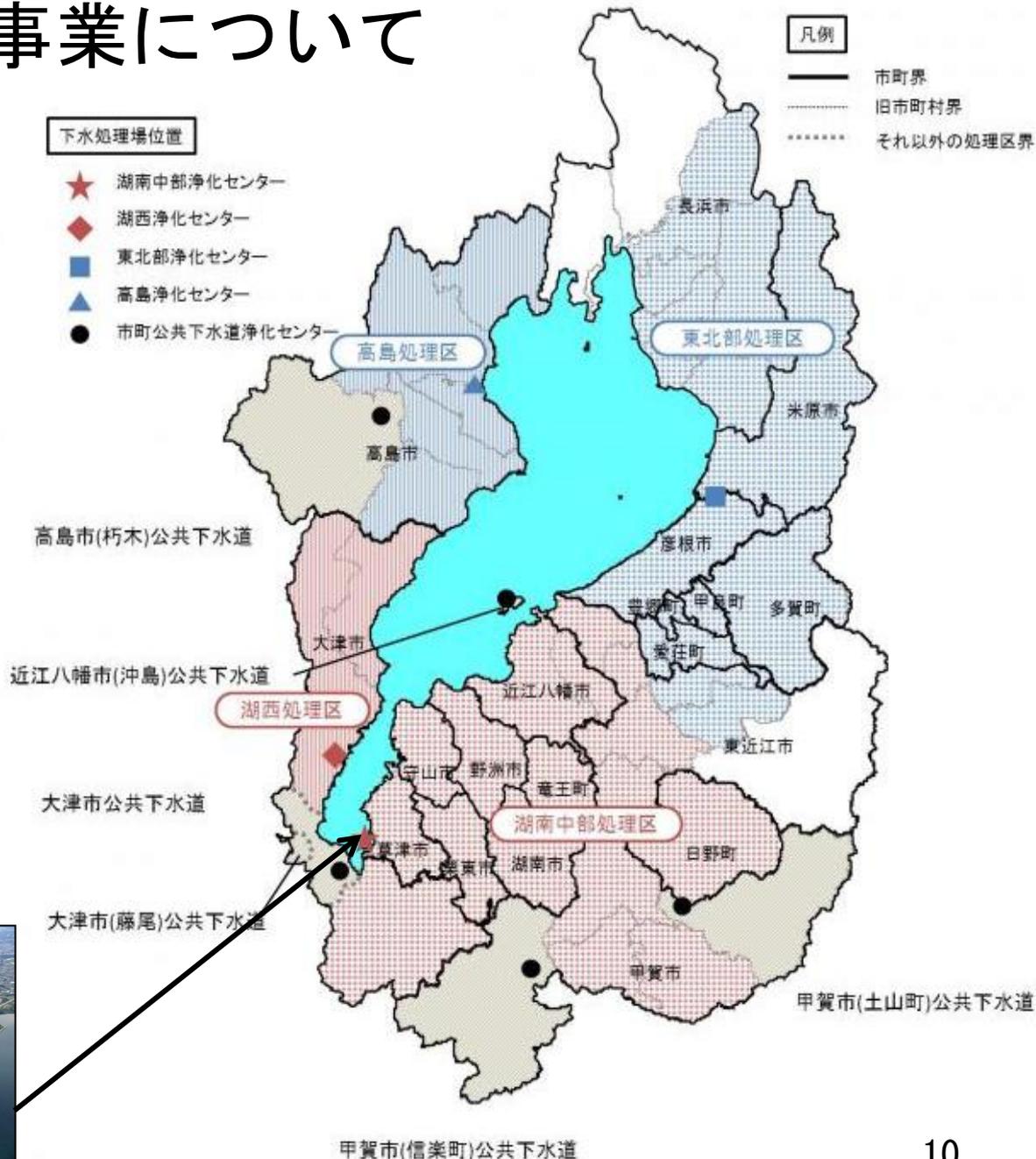
### 【公共下水道】

◆滋賀県が設置し11市町の広域で構成された流域下水道で浄化処理

◆昭和49年より事業に着手、昭和57年度より供用開始

◆下水道人口普及率  
平成26年度末 95.5%  
(市全体人口に対する下水道の整備済人口の割合)

湖南中部浄化センター



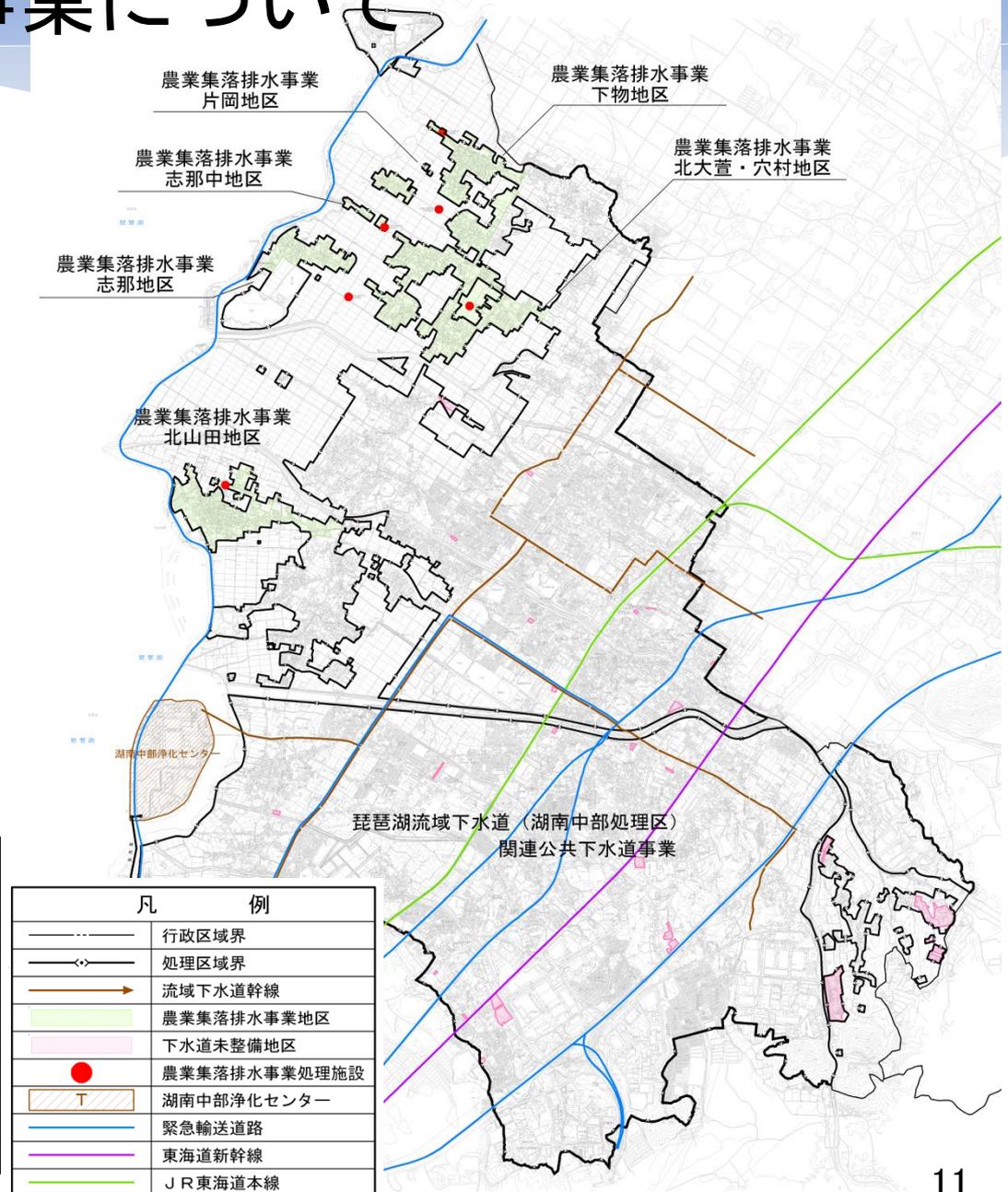
# 草津市の下水道事業について

## 【農業集落排水事業】

- ◆ 6箇所の処理場で処理
- ◆ 将来は公共下水道に接続の計画
- ◆ 下水道人口普及率  
 ≪農業集落排水事業のみ≫  
 平成26年度末 4.0%  
 (市全体人口に対する下水道の整備済人口の割合)
- ◆ 農業振興地域における生活排水のみ

草津市の汚水事業  
 公共下水道事業と農業集落排水事業で下水道を整備

- ◆ 下水道人口普及率  
99.5%



# 草津市の下水道事業について

## 雨水事業

【公共下水道】

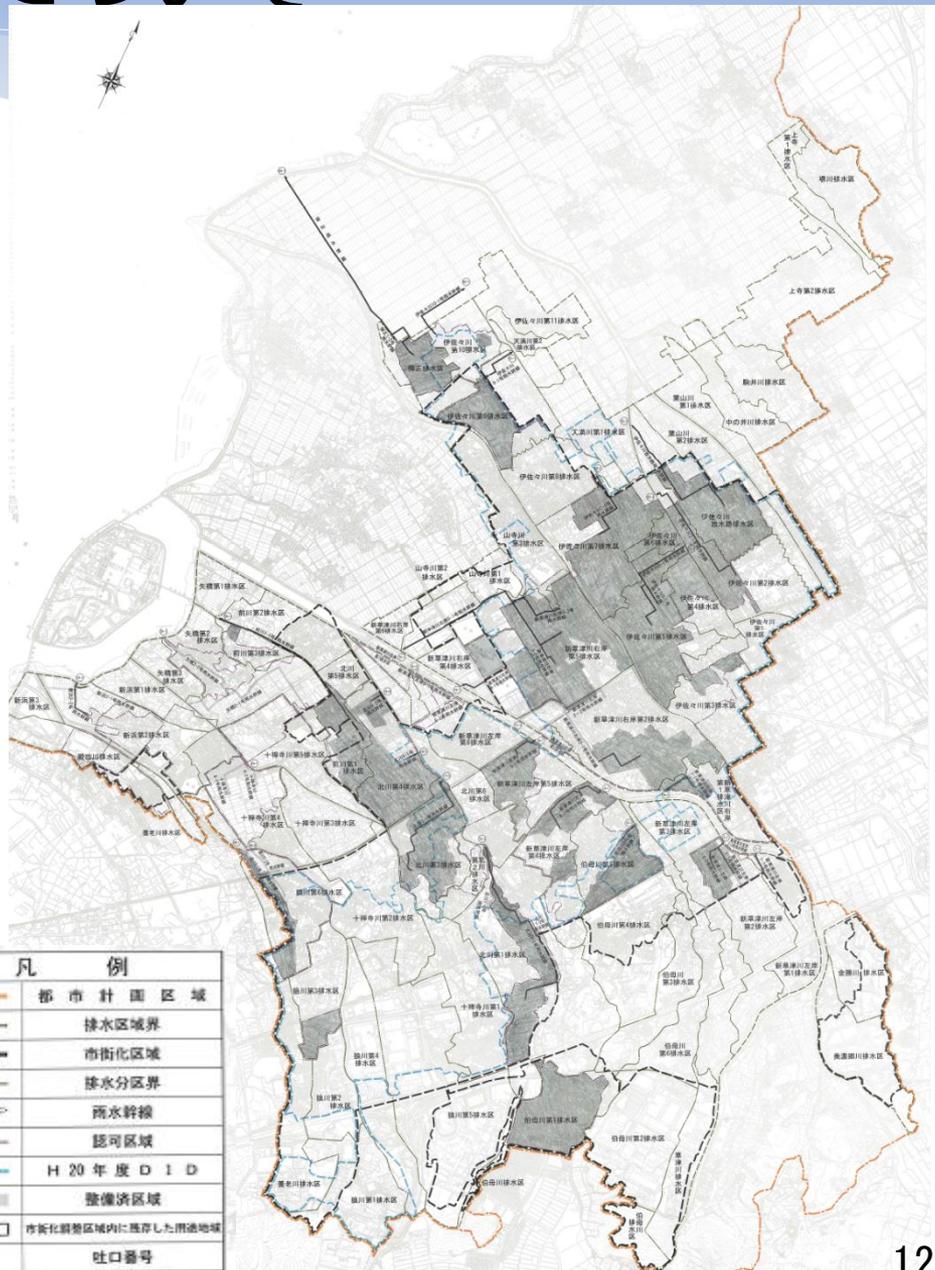
◆昭和53年より下水道事業の浸水対策開始

◆整備率

《雨水幹線の整備済》

平成26年度末 19.8%

(全体計画面積に対する割合)

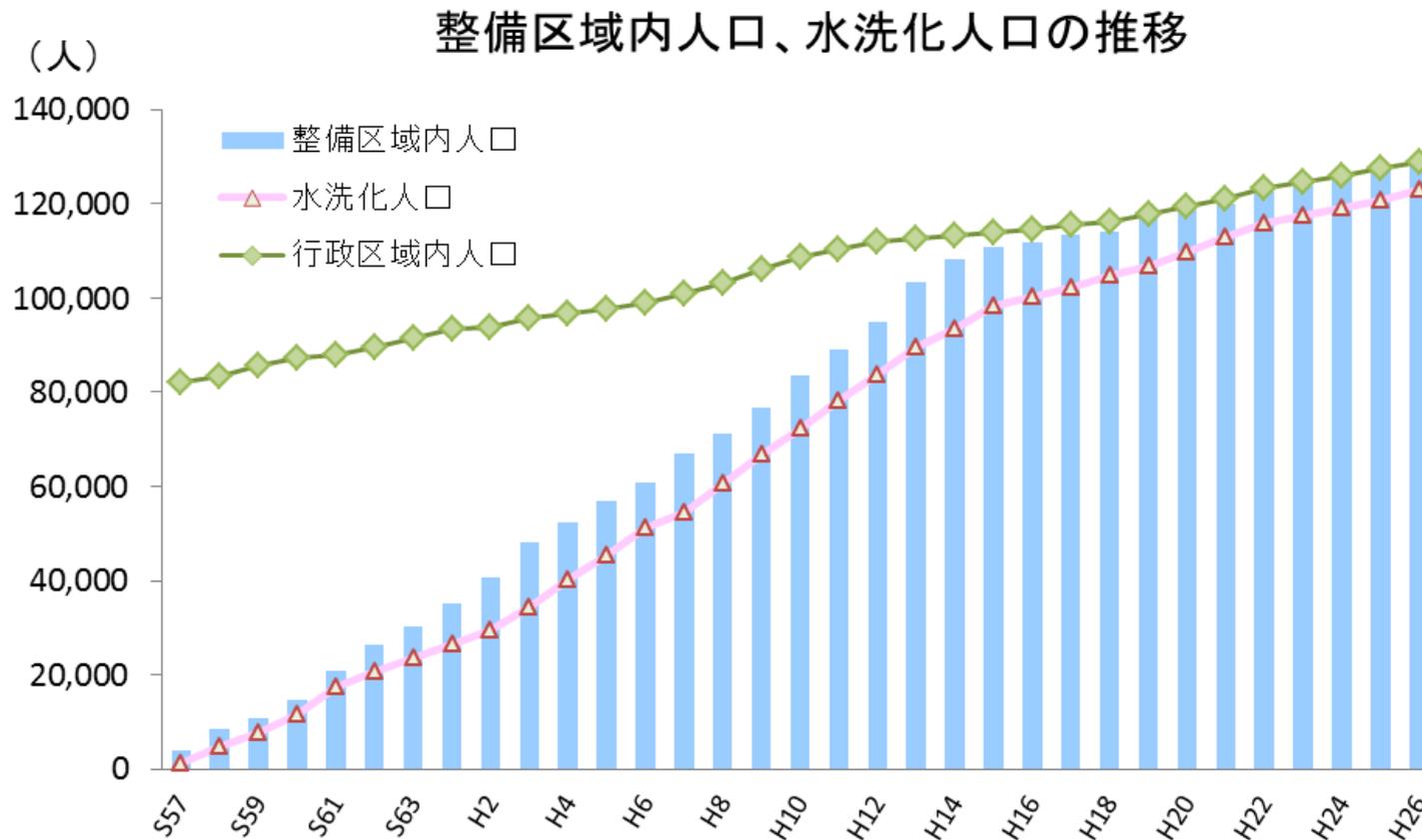


# 草津市の下水道事業について

## 汚水事業

整備区域内人口および水洗化人口の推移（農業集落排水含む）

- 平成16年度頃より整備区域内人口は緩やかに増加
- 普及率99.5% 水洗化率95.9%（平成26年度末）

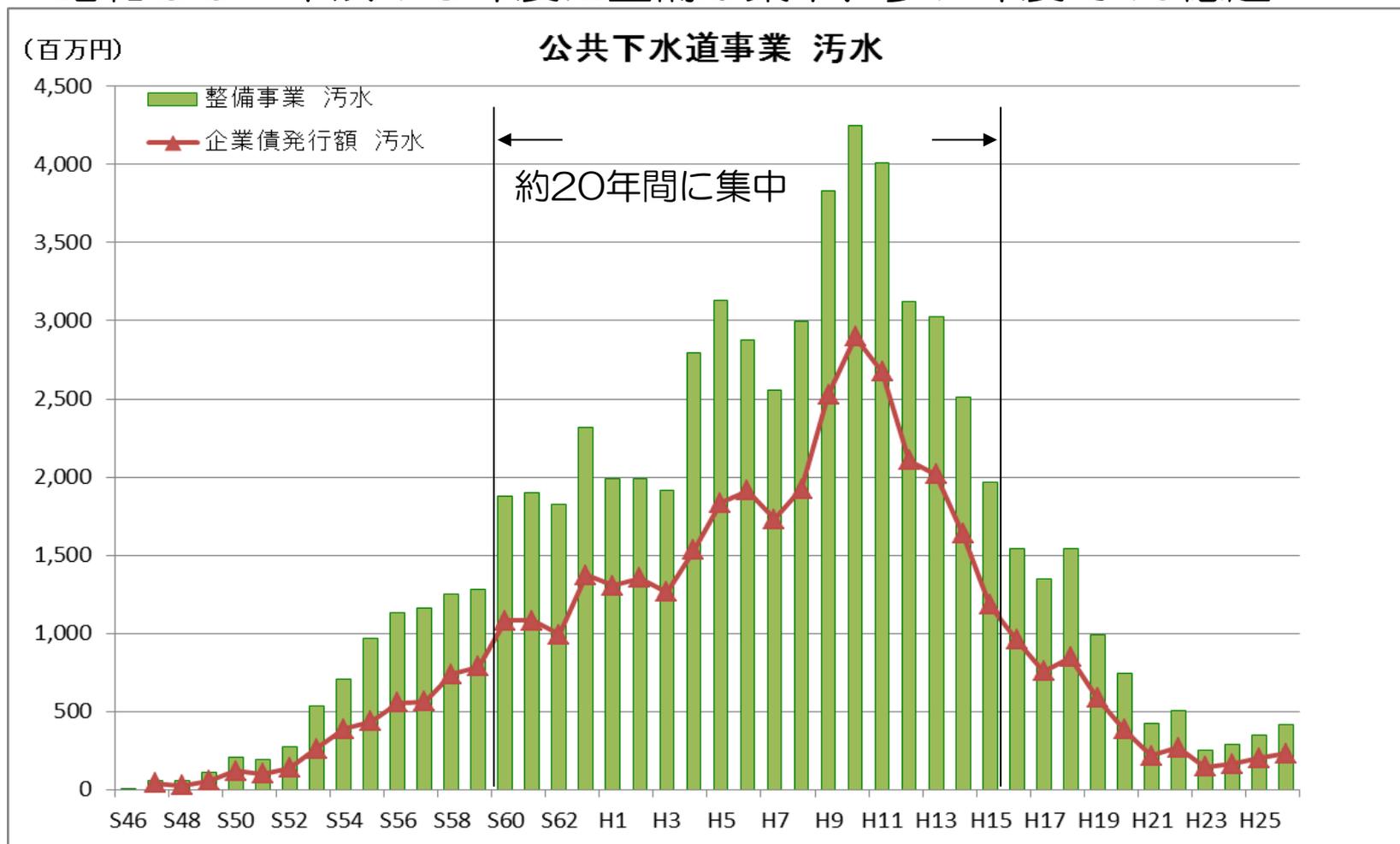


# 草津市の下水道事業について

## 汚水事業

整備費および企業債発行額の推移（流域下水道建設負担金含む）

- ・昭和60～平成15年度に整備が集中、多い年度で40億超

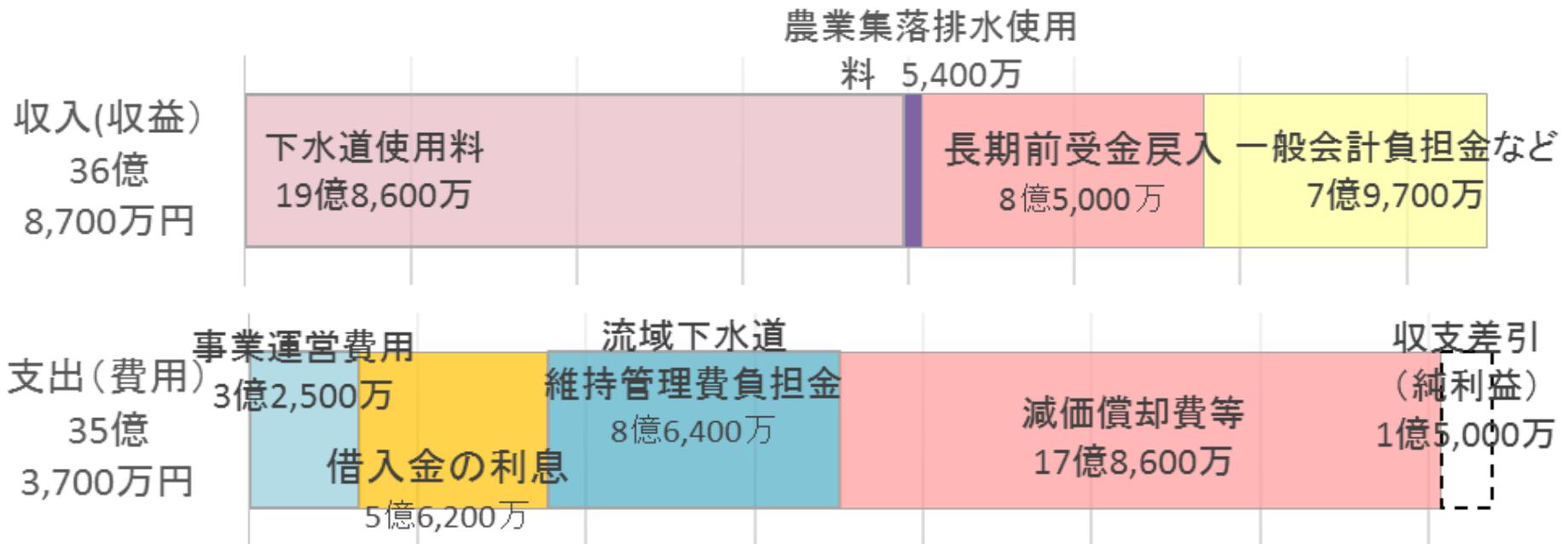


# 平成26年度決算状況について

## ◆平成26年度下水道事業会計決算

### 収益的収支（損益計算書）【下水を処理するための収入と支出】

（税抜き）



一般会計負担金（総務省の通知に基づく）

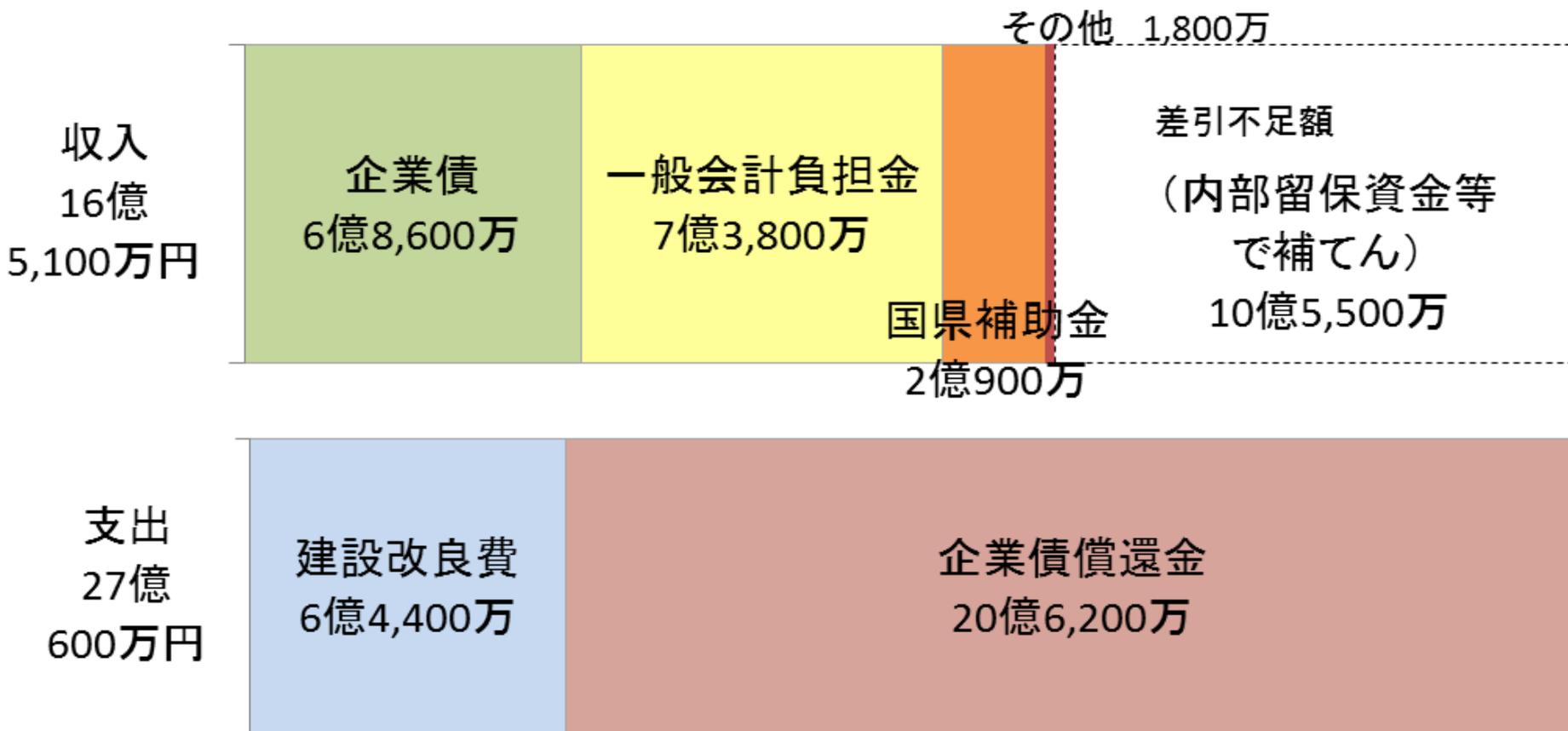
- 雨水処理に関する経費
- 特別な企業債の償還金
- 高度処理（窒素やリン等を処理する高度な汚水処理方法）の経費
- 利息と減価償却費または企業債の償還金の一部

# 平成26年度決算状況について

## ◆平成26年度下水道事業会計決算

### ・資本的収支 【施設をつくるための収入と支出】

(税込み)



# 平成26年度決算状況について

## 公営企業会計の経理

### ◆収益的収支（損益計算書）

支出

維持管理費

企業債の  
償還利息

減価償却費

利益

収入

下水道  
使用料

一般会計  
負担金

長期前受金  
戻入

減価償却—長期前受金戻入

損益勘定留保資金

### ◆資本的収支

支出

建設改良費

企業債の  
償還元金

収入

企業債  
(借入金)

国庫補助金

一般会計  
負担金

補てん財源

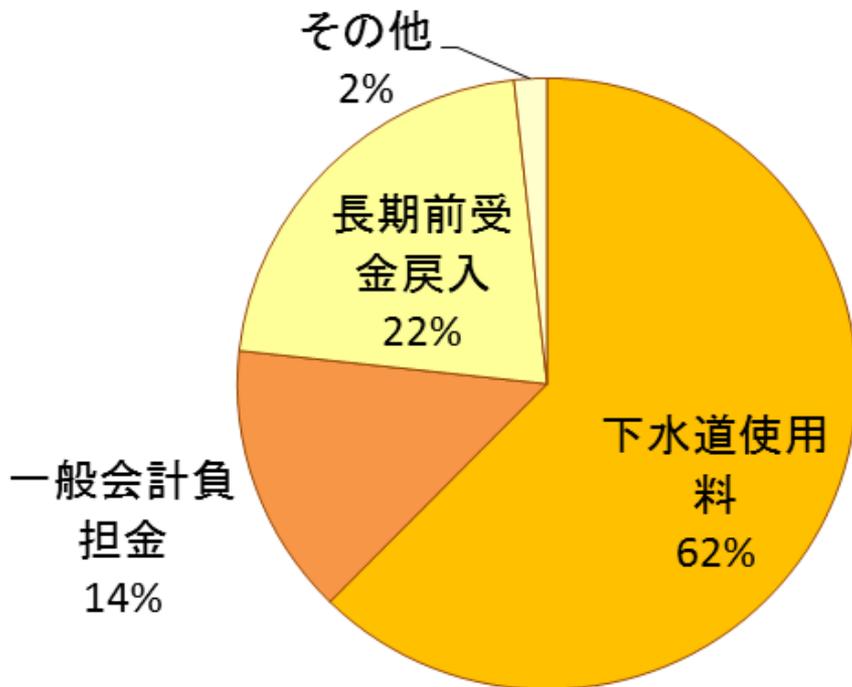
積立金

# 平成26年度決算状況について

## 収益的支出（損益計算書） 【公共下水道 汚水事業】

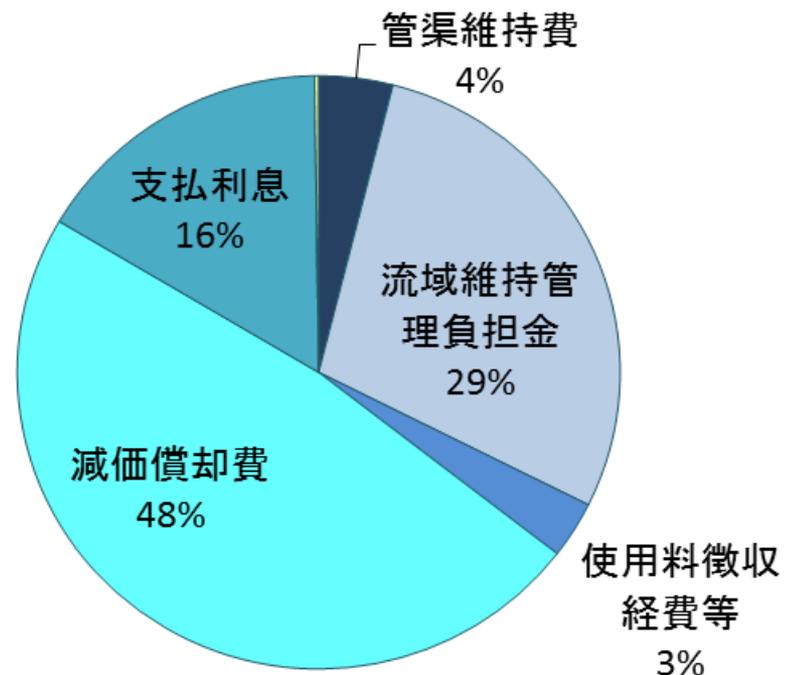
- ・減価償却費が48%、流域維持管理費負担金が29%を占める

### 収入(収益)



収入合計 31億8,400万円

### 支出(費用)



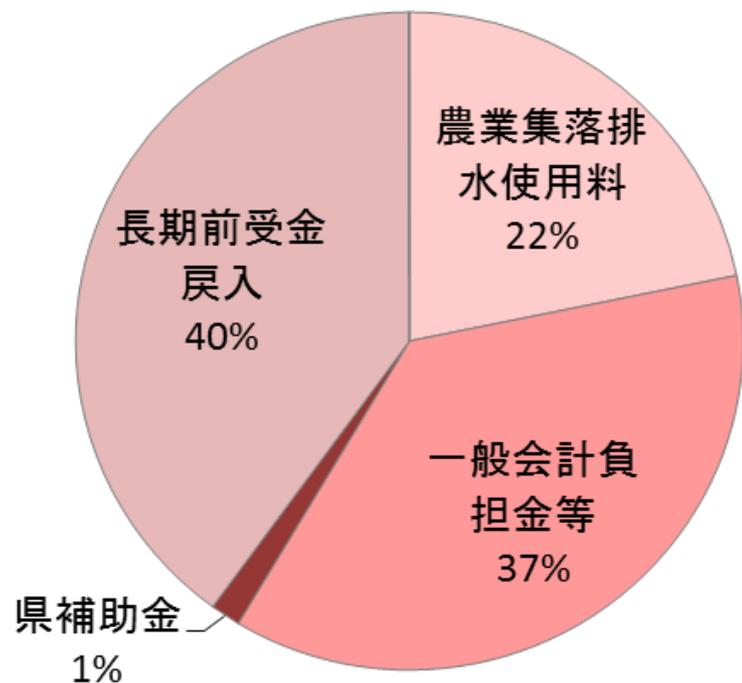
支出合計 30億2,100万円

# 平成26年度決算状況について

## 収益的支出（損益計算書） 【農業集落排水事業】

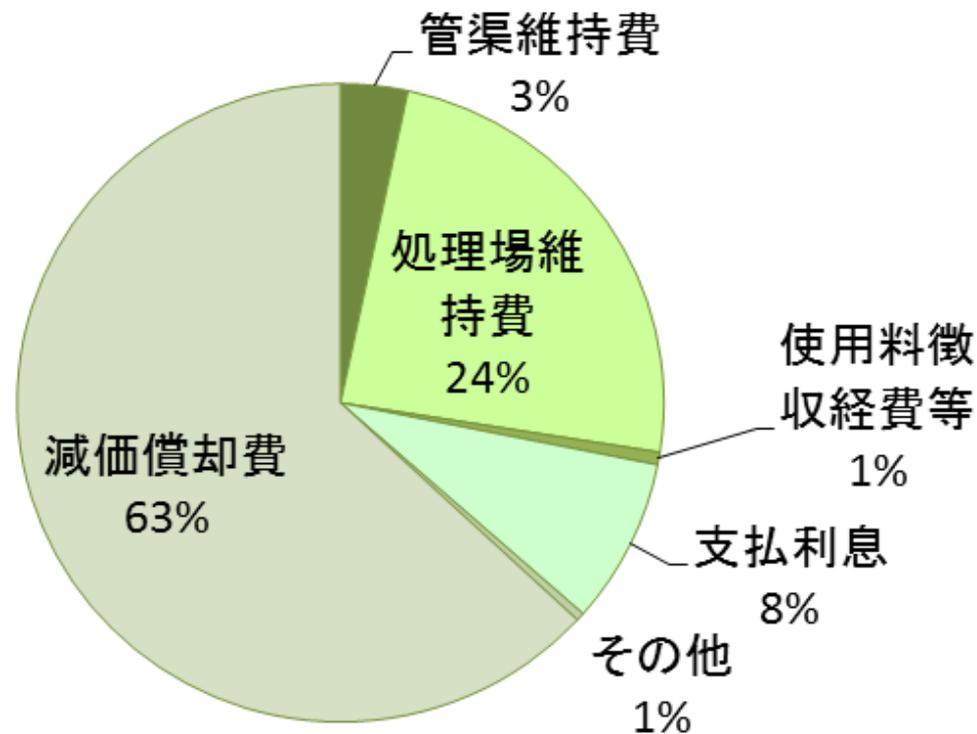
- 維持管理費が農業集落排水使用料を上回る

### 収入(収益)



収入合計 2億4,800万円

### 支出(費用)

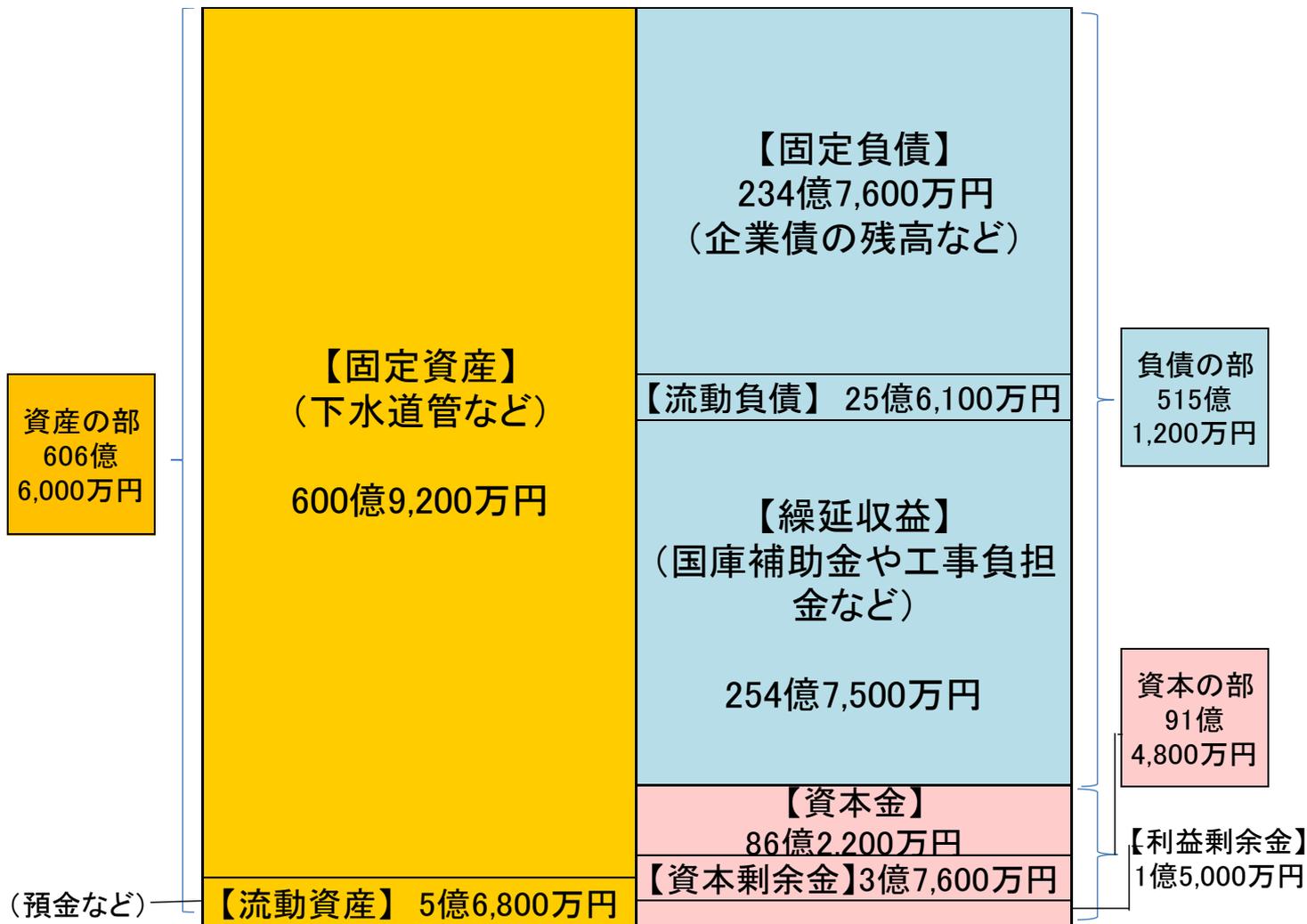


支出合計 2億6,100万円

# 平成26年度決算状況について

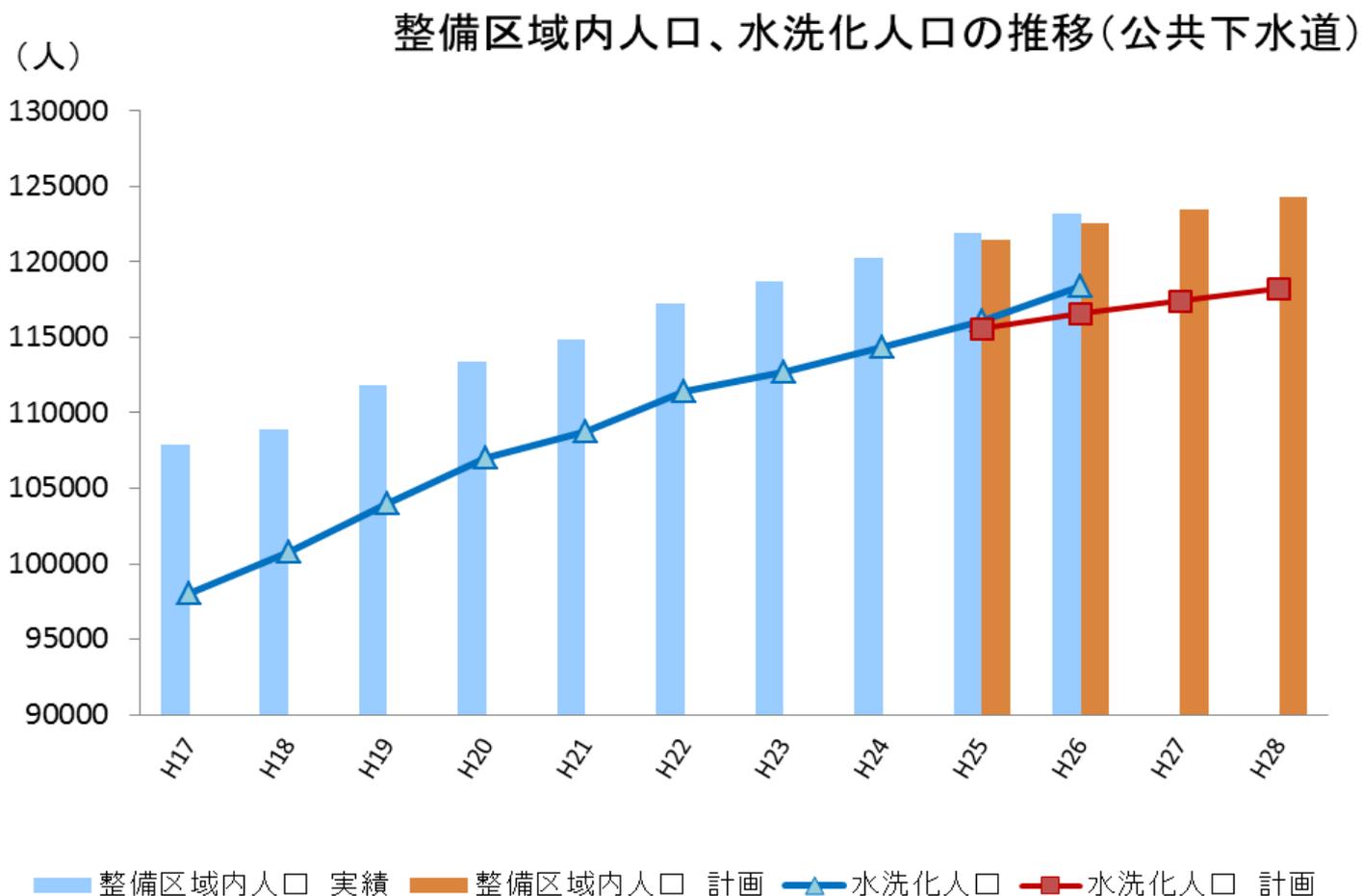
## ◆平成26年度末貸借対照表

流動負債（1年未満支払義務分） > 流動資産（現金等）



# 経営の現状について

- ◆整備区域内人口、水洗化人口の経営計画との比較  
計画時予測を上回り増加



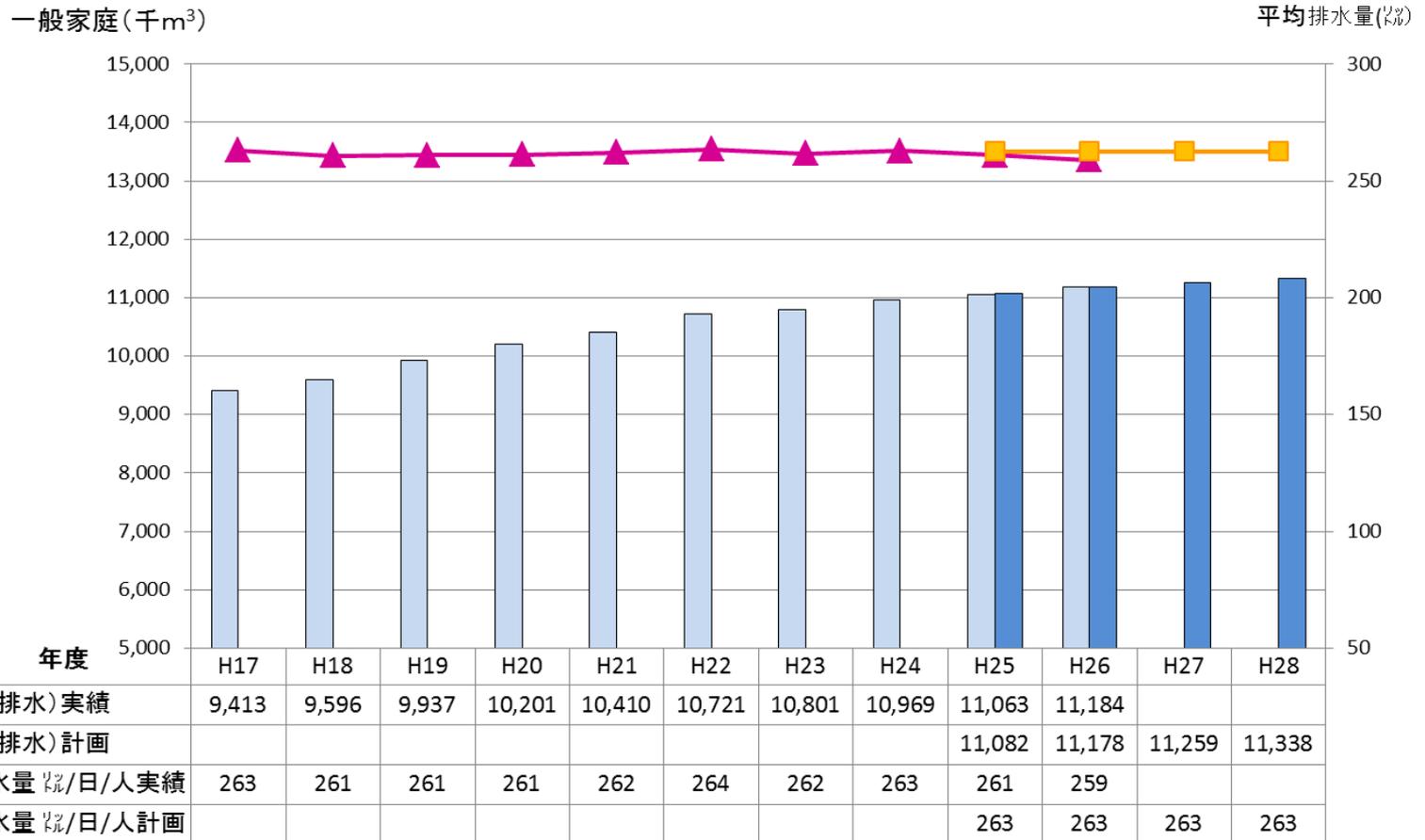
# 経営の現状について

## ◆有収水量の推移（一般家庭）

- 1人1日平均水量は計画時予測を下回り減少

### 有収水量の推移(一般家庭)

※有収水量＝下水道使用料の元となる水量

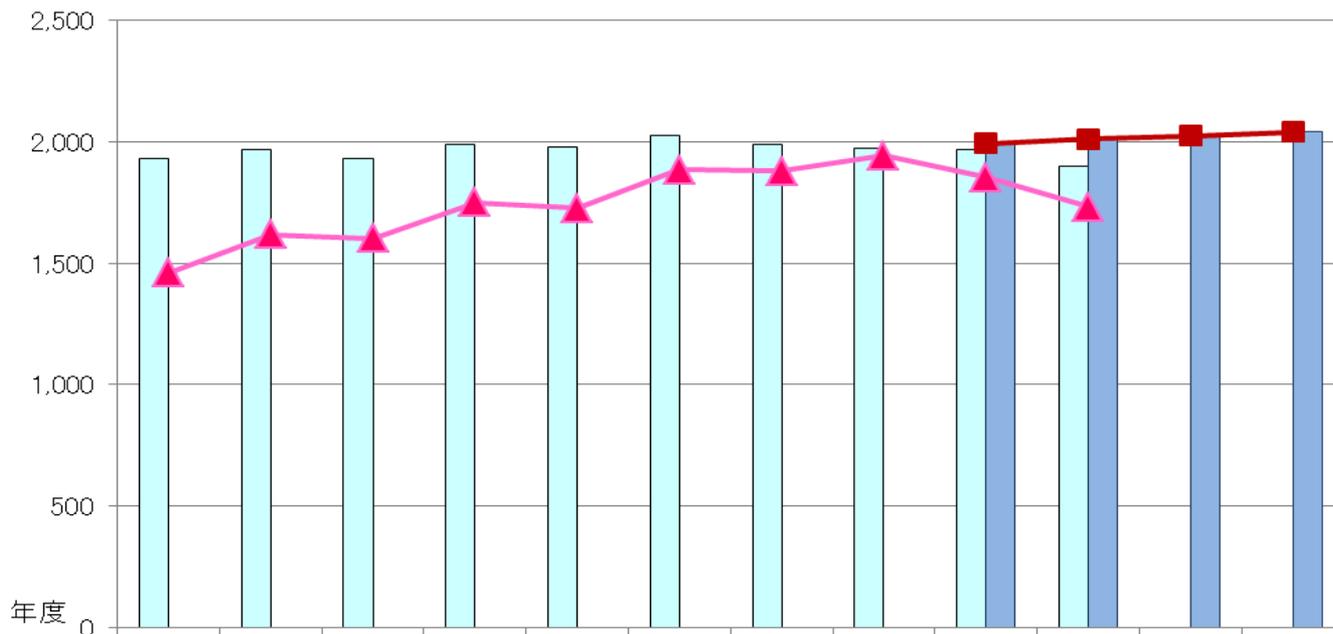


# 経営の現状について

- ◆有収水量の推移（工場等・公共施設）
  - ・計画時予測を下回り減少

有収水量の推移(工場・公益施設)

工場等排水量(千m<sup>3</sup>)



特定排水：工場  
用の排水のうち  
2ヶ月で1,500m<sup>3</sup>  
を越える排水量

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
工場・公益施設(一般排水) 実績	1,933	1,968	1,929	1,990	1,980	2,028	1,990	1,973	1,970	1,899		
工場・公益施設(一般排水) 計画									1,997	2,015	2,029	2,043
工場(特定排水) 実績	1,459	1,618	1,602	1,751	1,727	1,884	1,880	1,944	1,853	1,733		
工場(特定排水) 計画									1,994	2,012	2,026	2,040

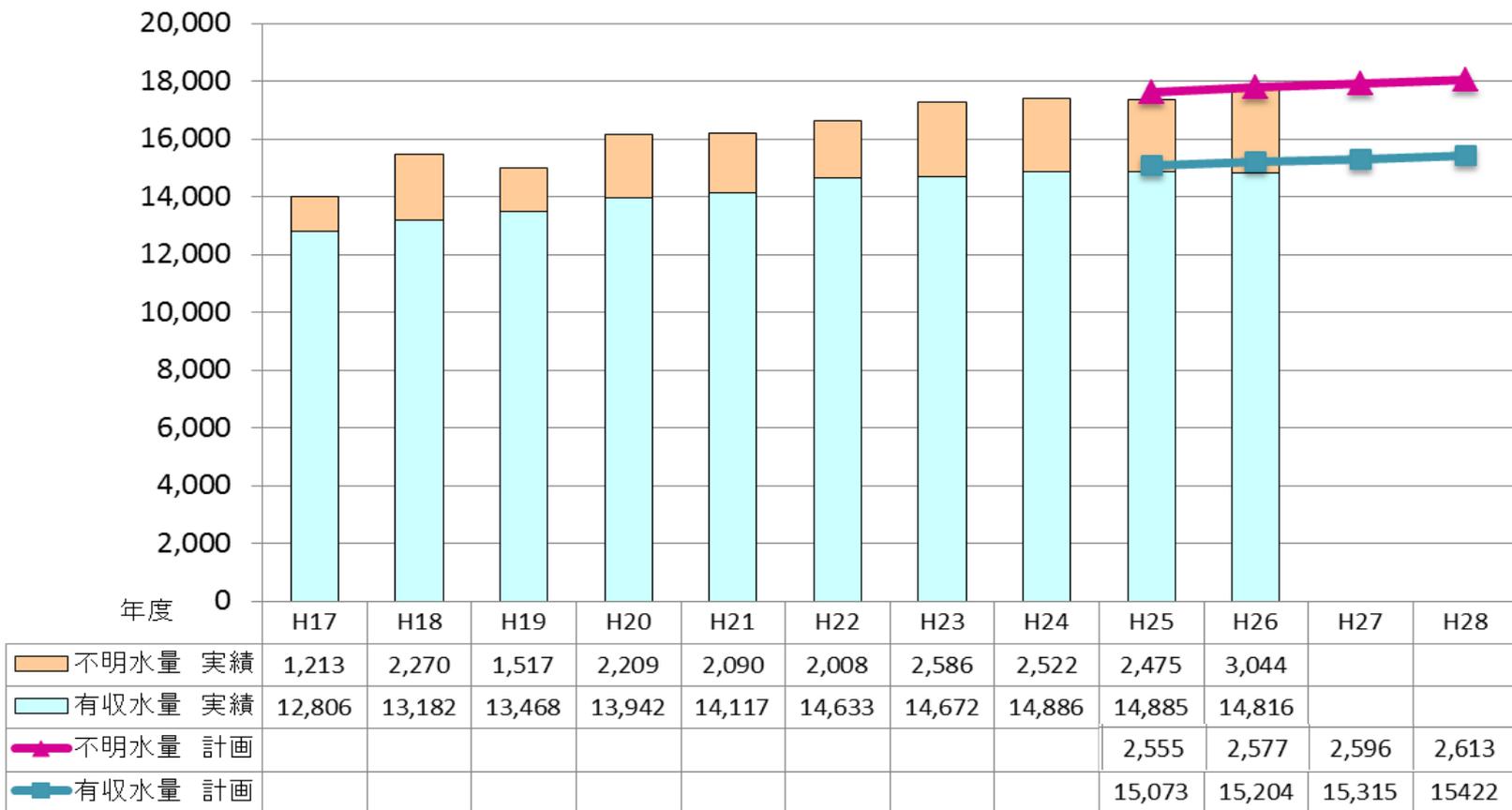
# 経営の現状について

## ◆公共下水道排水量（流域維持管理費負担金の対象）の推移

- ・有収水量は近年微減、不明水（雨などの浸入水）は降雨の影響を受け、年度によって増減

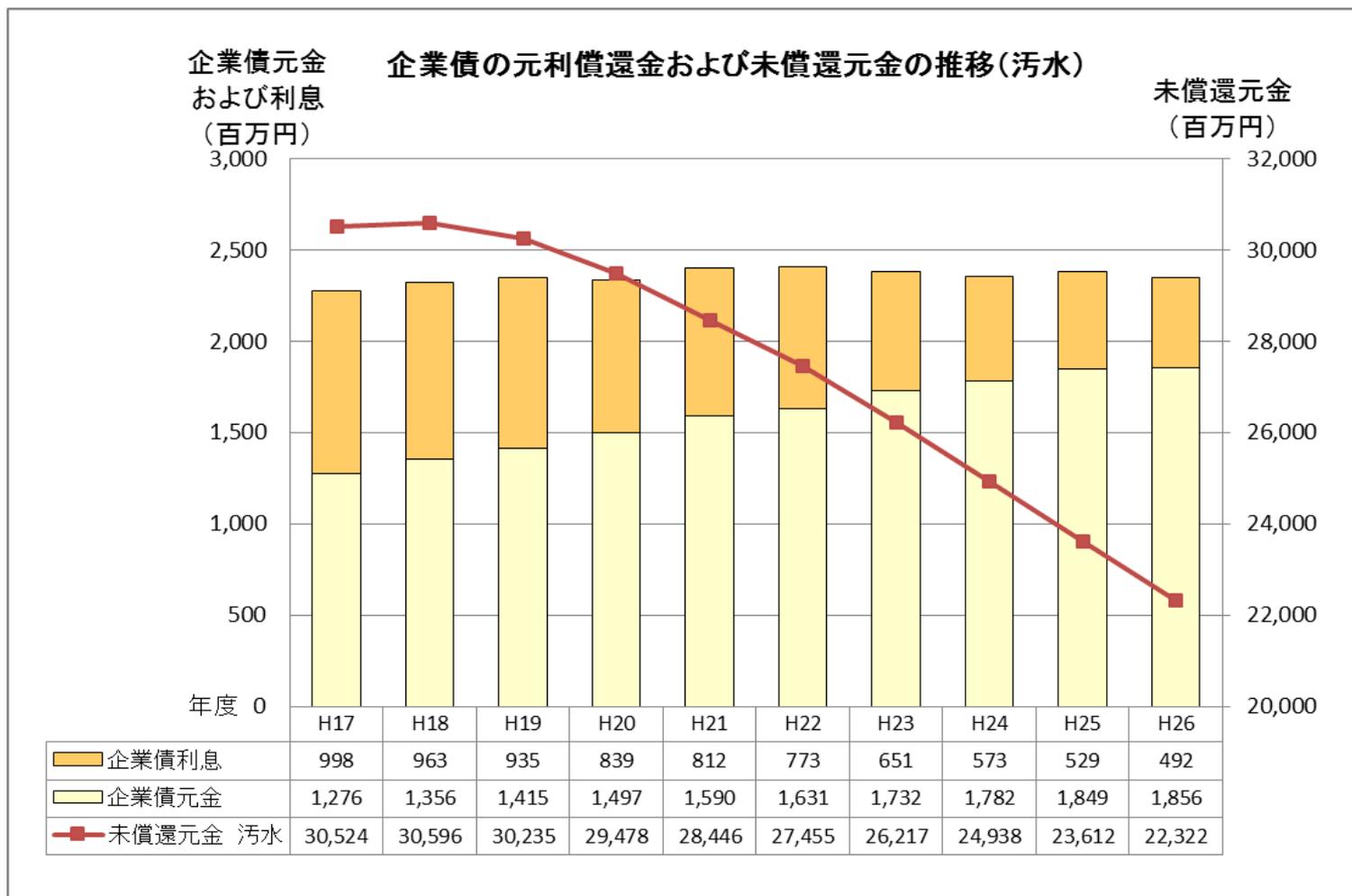
処理水量の推移（流域下水道維持管理費負担金の対象）

処理水量(千m<sup>3</sup>)



# 経営の現状について

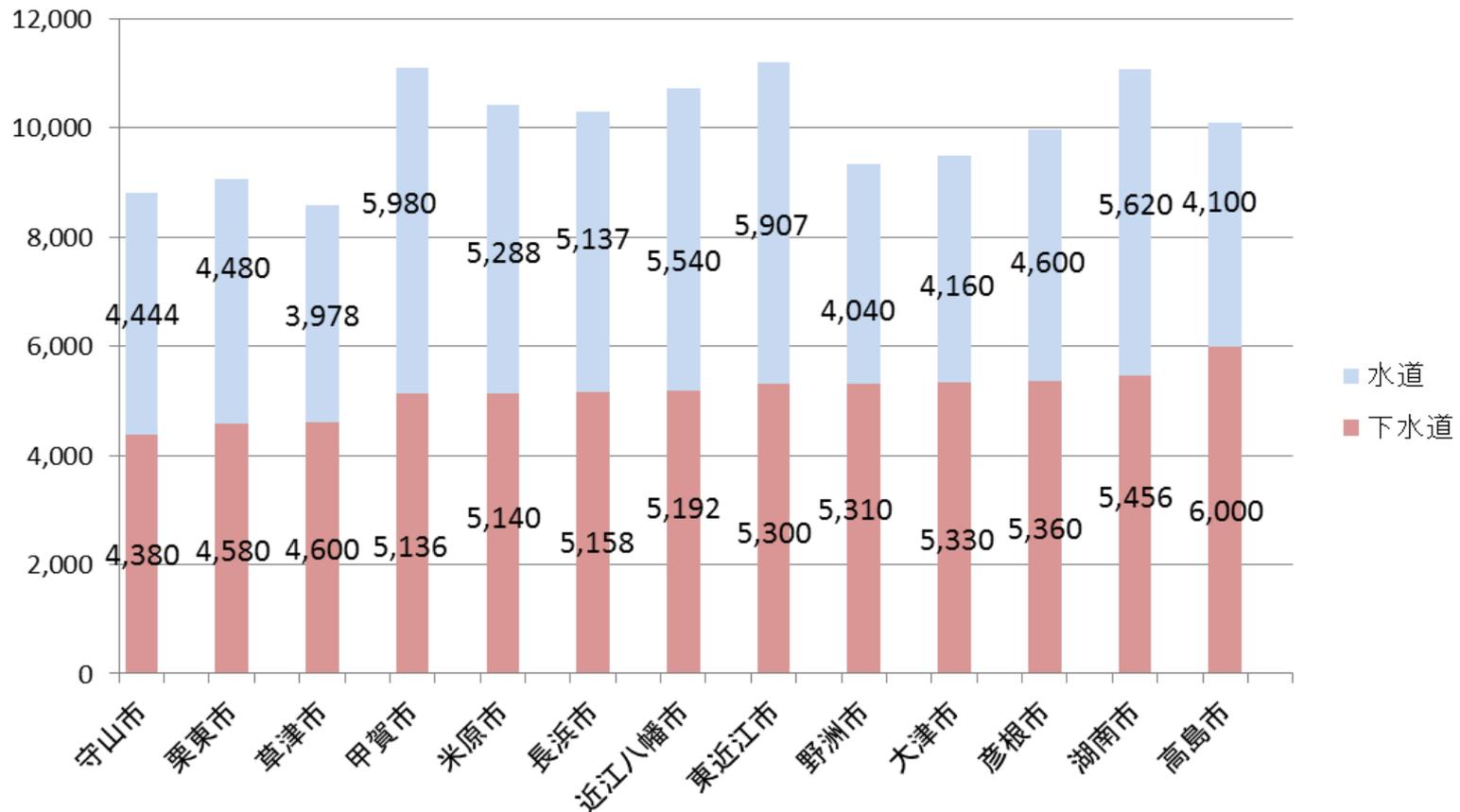
- ◆ 企業債の元利償還金および未償還元金の推移（污水）
  - 元利償還金は高水準を推移、未償還元金（残高）は減少



# 経営の現状について（県内下水道使用料）

## 県内他市上下水道料金比較（水道口径13mm）

H27.4.1現在 40m<sup>3</sup>/2カ月利用の場合 税抜き



# まとめ

## 【汚水事業】

- 下水道（汚水）の整備は農業集落排水地区を含め、人口普及率99.5%、水洗化率は95.9%となり、接続件数の増加は見込めない
- 供用開始から34年が経過、施設の老朽化への対応が必要  
当初の整備時期が短期間に集中
- 現在は元利償還金が高い割合で推移

## 【農業集落排水事業】

- 農業集落排水使用料が維持管理費を下回る状況

## 【雨水事業】

- 普及率は19.8%であり、引き続き整備拡大が必要